



第3次

# 南笠東学区住民福祉活動計画

2022

支え合い 笑顔あふれるまち



南笠東学区社会福祉協議会





# 南笠東学区住民福祉活動計画策定にあたって

南笠東学区社会福祉協議会の活動は、玉川学区からの分離により平成12年4月から、地域間の連携を保ち地域福祉活動の増進を図ることを目的に新たに発足し、地域福祉活動を行っています。

活動の基本となる南笠東学区住民福祉活動計画は、平成21年度から始まる第1次、続いて平成26年度からの第2次では、絆をテーマに、「楽しんで自己を成長させる仲間づくり」や、「みんなで創るまちづくりへの参加」をスローガンに策定し、活動の指針としてきたところです。

今回の第3次計画では、草津市社会福祉協議会（以下：市社協）が策定している地域福祉活動計画をもとに、市社協が進める地域福祉と同じ目標を目指しつつ、南笠東学区の特徴や、南笠東学区がこれまで大切にしてきた地域福祉活動の「良さ」も再確認しながら、「**南笠東学区らしさ**」を活かした計画にすべく、議論を重ねてまいりました。

本計画では、令和4年度から中長期計画（概ね5年間）とし、私たち南笠東学区では、どのような地域を目指していくのか、そのためにどのような活動を進めていくのかを盛り込みながら、活動のスローガンを「**支え合い 笑顔あふれるまち**」とし、学区一丸となって、地域福祉を進めていきたいと考えています。



## 南笠東学区の状況

南笠東学区は国道1号、京滋バイパスの他、名神高速道路の草津田上インターや草津サービスエリアも隣接し、草津市の南の玄関口となっています。学区のJR最寄り駅は南草津駅、瀬田駅で、南草津駅については新快速の停車駅となっていることから、利便性の高い地域と言えます。

学区内は、戸建て住宅やマンションのほか、工場や倉庫が所在し、東側には医療福祉施設（福祉ゾーン）があります。生活道路では狭い道路も多く、学区内の標高差が約50mと草津市内では坂の多い地域であり、高齢者にとっては不便を感じる方もおられます。

学区の世帯数については、平成28年から令和3年までの5年間で微増しているものの、学区内の人口は減少傾向にあり、核家族化が増えている状況にあります。

### ○高齢者人口の特徴

令和3年度の南笠東学区の高齢化率は21.7%となっており、草津市内の高齢化率22.4%と比較すると、「若い学区」といえます。

しかし、学区内には立命館大学などの学生マンションが多くあることから、高齢化率が低くなっているのが特徴で、実はこの5年間（平成28年から令和3年）の高齢化率は1.19倍となっており、市内でも2番目に速いスピードで高齢化が進んでいると言われてしています。

### ○年少人口の特徴

人口減少傾向が特に顕著にみられているのが、年少人口（0～14歳）です。平成28年から令和3年までの5年間で175人減少しており、草津市内で年少人口の減少率が最も高い学区です。年少人口数としては令和3年で819人となり、市内で2番目に子どもの少ない学区となっています。

子どもが少ないからこそ、地域の中で様々な活動等に取り組んでいきたいという声もあります。





# 南笠東学区社会福祉協議会の組織と体制

## 南笠東学区社会福祉協議会

平成12年に発足した住民の発意と参加によって組織された団体です。

学区全体で取り組む事業は、「本部」で実施、部門別の事業は、「青少年福祉」「高齢者福祉」「民生福祉」「活動支援」の各部会に分かれ事業を進めます。

また、学区内の公的機関・施設にも参画いただき、連携、協力し事業を進めるものとします。

### 本部

### 青少年福祉部会

青少年育成学区民会議、スポーツ推進委員、民生委員児童委員協議会、少年補導委員、更生保護女性会、健康推進員、BBS会

### 高齢者福祉部会

自治連合会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、草津栗東交通安全協会、各町内会福祉委員

### 民生福祉部会

自治連合会、民生委員児童委員協議会、更生保護女性会、体育振興会、草津市赤十字奉仕団南笠東分団、草津市身体障害者相談員、保護司、各町内会福祉委員

### 活動支援部会

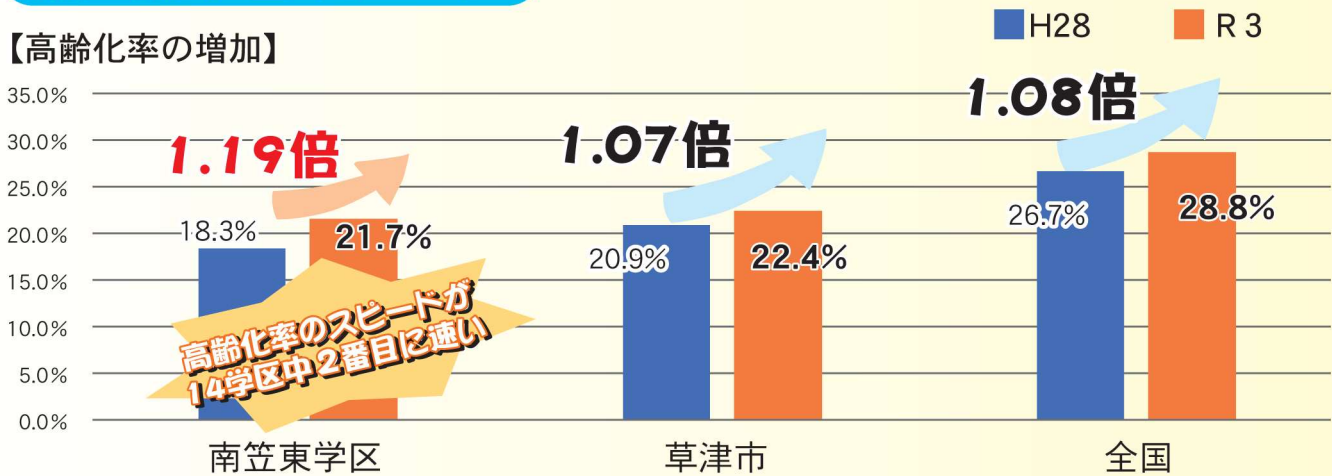
福祉活動経験者、福祉活動支援ボランティア

### 公的機関・施設

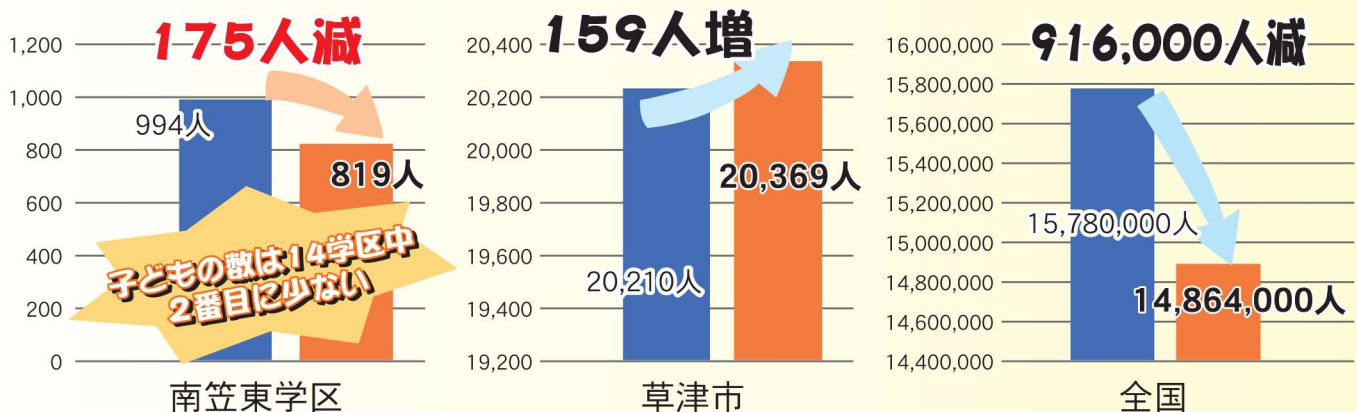
玉川中学校、南笠東小学校、玉川こども園、あさひこども園、南笠東小学校PTA、玉川中学校PTA、玉川こども園PTA、南笠東まちづくりセンター、びわこ学園、玉川地域包括支援センター、南笠デイサービスセンターあさひ

## 南笠東学区のデータ

### 【高齢化率の増加】



### 【年少人口数の減少】

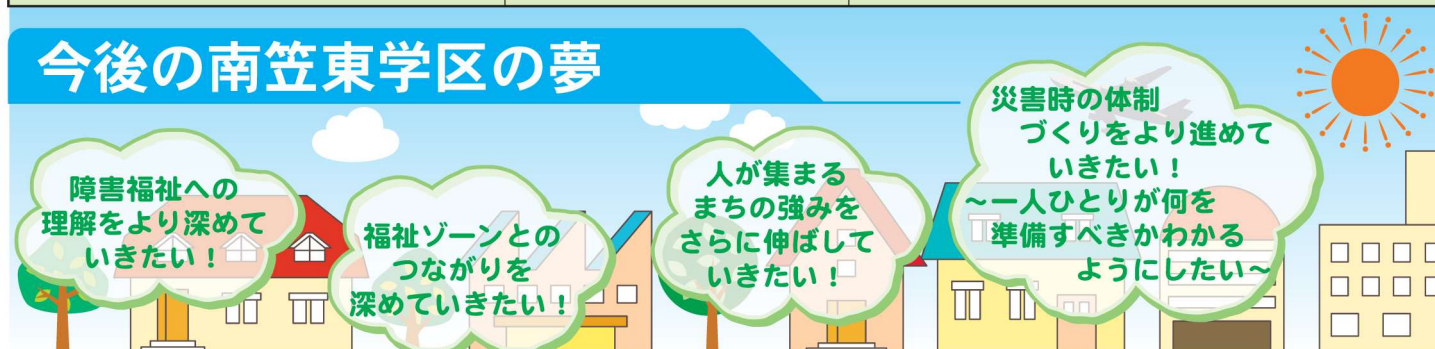


市社協 地域福祉活動計画 基本目標	事業名	大切にしたいこと	事業内容	実施主体
<b>福祉の風土づくり</b> 子どもから大人まで一人ひとりが尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土をつくるため、地域福祉活動の魅力を広く広報し、住民への啓発に取り組みます。	びわこ学園との交流	障害者への理解を高める	●ボランティア活動やお祭り参加などの障害者施設との交流 障害者への理解を広げ、地域と障害者との交流を図るため、お祭りに参加したり、物品の寄贈、施設訪問に取り組んでいきます。	本部
	合同フェスタ	地域の団体との協働と住民のふれあい・交流	●学区社協活動を広く啓発 学区の各種団体が協働で住民の交流の場をつくりながら情報共有、地域の連携を育み子どもから高齢者までつながりをつくっていきます。	本部
	社協だより「水莖」の発行	思いやりをもって活動の周知・啓発	●学区社協活動を広く発信 広報誌で地域での取り組み（学区社協事業）を住民に広く周知し、地域で支え合うまちづくりの推進を行います。	本部
	一般公開ケース研究会	思いやり・助け合い・支え合いの気持ちを育む	●多くの住民と一緒に犯罪や非行防止、立ち直りについて考える 犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について、事例を基に検討会を行うことで、地域での理解と受け止める気持ちを育みます。	青少年福祉部会
	防災体験教室	知識を共有することで防災意識の向上を図る	●楽しみながら防災学習 小学4～6年生を対象に、防災について学び、体験を通じて、地域とふれあいや交流を深め、健やかに育つ取り組みを進めます。	青少年福祉部会
	赤ちゃん訪問	顔見知りになるきっかけづくり	●市の保健師と連携した子育てサロン 地域と住民のつながりをつくるため、学区内の赤ちゃん（満2歳未満）を訪問し、子育ての相談窓口である民生委員・児童委員の周知・啓発を行い、子育てサロン等の参加の声掛けを行います。	青少年福祉部会
	食育講座	成長への育み	●食べることは健康の源 子どもを対象に、調理体験を通して食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、健やかに生きていくことができるよう体験できる機会をつくります。	青少年福祉部会
	高齢者福祉部会委員研修	人材育成とスキルアップ	●福祉を推進するために委員としての知識習得の機会 地域の高齢者福祉を増進するため、委員での研修を行うことで必要な知識・スキルを身に付け、人材育成とスキルアップを目指します。	高齢者福祉部会
民生福祉部会委員研修	共に学ぶ	●今後は外部で体験学習もしていきたい 地域福祉の増進のために知識を学び情報の共有をし、福祉意識を向上させていきます。	民生福祉部会	
<b>住民主体の活動づくり</b> くらしの課題を共有し、解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりとその人を支援する体制をつくります。	医療福祉を考える会議（地域福祉懇談会）	地域と専門職とのつながり・連携強化	●健康で末永く暮らしていくためにはどうするのかを考える 地域と専門職が、高齢者の暮らしを真ん中に置いて、暮らしの問題を共有し、解決に向けて話し合ったり、福祉について考える機会をつくります。	本部
	健幸なまち南笠東プロジェクト	多くの住民が参加できる場づくり	●ひきこもり予防のための、出かける場 「いつまでも健康でありたい」という学区住民の願いを叶え、ずっと元気に暮らし続けられるまちの実現に向けて、多くの住民が参加できる講座の開催や健康器具の普及等を図ります。	本部
	送迎サポート	地域支え合い活動への理解と参加	●地域の支え合いを広げ、住民主体の活動を進めていく ボランティアの協力を得ながら、社会とのつながりが希薄化している高齢者や、日常生活支援が必要な人に対して、引きこもり予防や介護予防に取り組むため、地域でのふれあいの場への参加促進等を行います。	本部
	百歳体操	住民が主体となる活動	●高齢者の運動の場 住民が主体となって活動できる場を普及していくために、町内会単位で、いきいき百歳体操を行い、健康づくりを進めていきます。	本部
	高齢者健康教室	健康意識の向上	●高齢者が元気に過ごせるために知りたい食や健康がテーマの講演を実施 高齢者同士の交流を深め、高齢者がいつまでも元気に健康で暮らしていくために大事なことを学んでもらえる、さまざまな教室を開催します。	高齢者福祉部会
	パースディ訪問	地域の高齢者の把握と見守り	●各機関と連携しながら不安や悩み、困りごとなど気軽に相談できるつながりづくり 高齢者の孤立・孤独を防止していくため80歳以上の方の誕生月に訪問し、見守りと状況確認を行います。	高齢者福祉部会



市社協 地域福祉活動計画 基本目標	事業名	大切にしたいこと
<b>住民主体の活動づくり</b> 暮らしの課題を共有し、解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりとその人を支援する体制をつくります。	災害時支援訓練	事前準備と連携
	更生施設訪問	課外授業から学び、今できることを知る
	ミニ集会	参加型の目配り
<b>絆をつむぐまちづくり</b> 住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域をつくります。	敬老会	普段出会えない人とのつながれる場づくり
	高齢者配食サービス	孤立・孤独防止のための見守り
	ボランティア団体 新春のつどい	活動者どうしのつながり、交流
	ママさん寺子屋	気軽に参加できる場
	子育てサロン	住民同士のつながり
	離乳食レストラン	地域住民のつながり
	寺子屋	参加者同士のふれあい・交流の役割
	ふれあいサロン	高齢者同士の交流を深める
	支援に必要な学習会	自分ができることを学び・気づきを得る
日赤活動、防災学習会	奉仕の心の向上	

## 今後の南笠東学区の夢



事業内容	実施主体
<b>参加型の地域イベント</b> 各種団体・住民と連携し災害時に備えて、炊き出し等の訓練を行います。	民生福祉部会
<b>委員の研鑽</b> 高齢、障害、児童等さまざまな分野の施設を訪問することで、福祉現場の現状を知り、また福祉への理解を深めます。	民生福祉部会
<b>分散型となって現状を把握</b> 子どもたちの犯罪や事件の未然防止のため、地域の多年齢層が少人数から交流できる場、つながりを構築する場として実施します。	民生福祉部会
<b>参加者同士や参加者と活動者、活動者同士等さまざまな絆を紡いでいく活動</b> 食事やおしゃべりを通して普段出会えない方と交流をし、子どもたちの演技や地域の活動者の発表を見たり、多年にわたり社会に貢献されてこられた70歳以上の方の長寿のお祝いをすることで、高齢者福祉への理解と関心を高めます。	本部
<b>住民同士のふれあいの場</b> 80歳以上の一人暮らし高齢者世帯または、80歳以上のみの世帯へお弁当を届け、見守り活動を行います。	本部
<b>団体長の交流、情報交換の場</b> まちづくりに関わる団体等が集い、意見交換をしていきます。	本部
<b>子育て世代の交流と更生保護女性会の活動を知るきっかけ</b> 子育てに関する講座を開催したり、交流ができる場となるよう、子育て世代への支援をしていきます。	青少年福祉部会
<b>保護者同士がつながり相談できる環境</b> 保護者同士のつながりをつくり、孤立・孤独防止をするため、未就園児の保護者の交流の場、子どもの遊び相手、あそび場の提供等、支援が必要な家庭の発見と支援を行っていきます。	青少年福祉部会
<b>地域と子育て世代、子育て中の親同士の交流・ふれあい</b> 健康推進員による離乳食の初期から後期までの説明と調理見学を実施する等、子育ての情報交換を行います。	青少年福祉部会
<b>大学生と小学生の交流</b> レクリエーションやスポーツを通して子どもの遊び相手となったり、あそび場の提供をすることで、大学生と子どものふれあい・交流の機会をつくります。また、子どもが気軽に相談できる場となるよう進めていきます。	青少年福祉部会
<b>高齢者が元気に過ごすための交流の機会</b> 高齢者同士、ボランティア団体同士のつながり・絆をつむいでいくため、65歳以上の方を対象に、歌唱やマジック、ゲーム等を通して参加者の交流を図ります。	高齢者福祉部会
<b>災害支援に必要な学習</b> 住民への支援に必要な研修を行い必要な知識を交流をしながら学びます。	民生福祉部会
<b>大学生とのふれあいと交流</b> 献血PRの補助や義援金の街頭募金活動、清掃活動、防災意識を高めるための学習会を開催し、さまざまな取組を通して助け合いや思いやりの心を育み、つながりやふれあい、絆を深めます。	民生福祉部会





## 計画推進にあたって

今回策定しました南笠東学区住民福祉活動計画は、令和4年度から概ね5年間を目途とした中長期的な活動計画です。計画には、従来から取り組んでいる事業も多くありますが、策定委員会でも出された事業ごとに「大切にしたいこと」の項目を設け、地域としての思いを書き込んでいます。

事業実施にあたっては、これらの思いを大切に、本部や各部会が連携協力し、一歩ずつ着実に進めてまいります。

この計画の特徴は、市社協の第3次草津市地域福祉活動計画の基本目標と関連性を持たせたことです。「福祉の風土づくり」「住民主体の活動づくり」「絆をつむぐまちづくり」の3つの基本目標は、私たち南笠東学区における福祉活動を進める上でも、その方向性を示すものであり、市社協と連携をして、地域福祉活動を進めてまいります。

地域における福祉活動は、地域連帯感と住民の福祉に関する意識を醸成し、地域で支え合おうということが重要であり、取り組みにあたっては、この南笠東学区住民福祉活動計画を活動の柱として、学区一丸となって地域福祉活動をより一層進めてまいります。



## 計画策定委員会の経過

第1回	令和3年7月7日	計画策定に向けて、学区社協事業の確認
第2回	令和3年9月3日	データからみる学区の課題と現状の確認
第3回	令和3年11月16日	各事業の「大切にしたいこと」、「今後の夢」の検討
第4回	令和3年12月22日	計画（案）の確認、まとめ
第5回	令和4年1月19日	計画（案）の全体構成
第6回	令和4年2月14日	計画（案）の最終確認

## 第3次南笠東学区住民福祉活動計画策定委員会名簿

《本部》	《高齢者福祉部会》	《活動支援部会》	《関係機関》
清水和廣 岡田やよい 河合豊 浅井利治 高山明美	大西繁 竹下敬二 古田昌平 黒川英男	中尾修	玉川地域包括支援センター 草津市健康福祉政策課 草津市長寿いきがい課 草津市地域保健課 草津市社会福祉協議会
《青少年福祉部会》	《民生福祉部会》		
棚橋幸男 薄田正子 下新章子 辻佳子	川瀬善行 山本好男 清水節子 田中紀子		



令和4年3月策定  
南笠東学区社会福祉協議会